

15日

地元の食材を使った給食提供

J Aとまこまい広域厚真町ハスカップ部会（長谷誠良会長）からハスカップ、鶴川漁協厚真ほっき貝漁業部会（西館純之会長）からホッキ貝が町学校給食センターに寄贈されました。

7月15日に豆乳プリン（ハスカップソース添え）、20日にホッキカレーとして町内のこども園、小中学校に提供され、子どもたちは地元の食材を味わっていました。



20日

19日

厚真中と厚南中の2年生が イングリッシュ・デイキャンプを実施

厚真中学校（渋川賢一校長）と厚南中学校（細野輝彦校長）の2年生を対象に、特色ある授業の一環として「イングリッシュ・デイキャンプ」が総合福祉センターで行われました。

生徒とALT（外国語指導助手）でグループを編成し、与えられたテーマを基にスキットと呼ばれる寸劇を製作しました。

各グループのユニークな発表に、会場は盛り上がっていました。



28日

さくら保育園交通安全教室

軽舞さくら保育園（金光朋充園長）で、こぐまクラブと「J A F交通安全ドレミぐるーぷ」の交通安全教室が実施されました。

J A Fのスタッフが琴やエレクトーンなどの音楽演奏で、交通安全の大切な約束事を園児たちに教えていました。

園児たちは、楽しく交通ルールや横断歩道の渡り方について学んでいました。



28日

経済を学ぼう！ 今年も「あつまっ子カフェ」を開店

ともいきの里夏まつりの会場で、放課後子ども教室に参加している児童（小学3年生から6年生）が「あつまっ子カフェ」を出店し、米粉を使ったホットドックやハスカップソーダなど販売しました。

3回目の出店となった今回は、児童が商品の値段を設定。値段を決めるワークショップや市場調査、販売まで行い、よりリアルな職業体験活動となりました。



1日

地域おこし協力隊・林業支援員 に委嘱状を交付

厚真町地域おこし協力隊・林業支援員の委嘱状交付式が行われ、新しく支援員となった市瀬魁竜さん（23歳）に宮坂町長が委嘱状を手渡しました。

市瀬さんは静岡県出身で横浜市育ち。今年3月に日本大学生物資源科学部を卒業し、森林関係の仕事を探していたところ、今回の募集が目にとまったとのこと。

「今後、チェーンソーや猟銃の資格など取得したい」と抱負を語っていました。



2日

美しい水と豊かな生き物を育む森の再生を目指して イオン環境財団が植樹

町内高丘地区の旧高丘ゴルフ場跡地で、公益財団法人イオン環境財団（岡田卓也理事長）が主催する「イオンの森づくり厚真町植樹」が開催され、イオン公募のボランティアやイオングループの社員など約600人が参加しました。

この事業は、産業や暮らしを支える森の回復を目的として作年度から開催され、今回が2回目の開催となりました。当日は、あいにくの雨模様の中、ハルニレやエゾアカマツなど約6,000本を植樹しました。



3日

完成間近！ド迫力のダムを見学

建設工事の終盤を迎えている厚幌ダムの建設工事現場見学会が町主催で開催され、町民約70人が参加しました。

参加者は、コンクリートの高さや大型重機車両の大きさに驚きながらも、興味深く工事現場を見学したり説明に聞き入っていました。



5日

自然を学ぼう！田んぼの生きもの観察会

厚真町土地改良区主催（室蘭開発建設部、胆振総合振興局）の「田んぼの生きもの観察会」が行われ、厚真中央小学校4年生と上厚真小学校3年生が美里地区の頭首工（上厚真小は上厚真地区の9区揚水機場）の見学と、用水路で生きもの観察を行いました。

児童たちは、タモ網でヤゴやオタマジャクシなど魚や虫を捕まえ、熱心に観察していました。

